

御 ONJUKU 宿

No.678

8月

2018.平成30年



写真：おんじゅく花火大会

- P2～4 生涯活躍のまちづくりを推進します
- P5 ピックアップ防災
- P6、7 お知らせ版
- P8、9 まちのできごと
広報御宿がマチイロでご覧いただけます
- P10 介護ワンポイント

地域再生計画 生涯活躍のまち・おんじゅく おんじゅくまるごと生涯活躍のまちづくりを推進します

御宿町に暮らす方・訪れる方が、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、皆が心豊かに暮らすことができる「生涯活躍のまち」を目指すために、町では地域再生計画「生涯活躍のまち・おんじゅく（おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまち）」を策定し、内閣総理大臣から認定されました。

今後はこの計画に基づき、①から⑤の事業について、それぞれ連携させながら一体的に取り組んでいきます。今月は、おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまちを推進するための5つの取り組みと、今後実施する事業についてご紹介します。

御宿町が抱える課題

御宿町は自然豊かな観光の町で、宿泊業や飲食業のほか、漁業や農業が営まれています。一方で、観光入込客数や人口の減少、高齢化とともに産業が衰退し、その結果、新規就業者や起業者、後継者が不足しており、この状況がさらに地域の活力を低下させ、人口の流出を招いています。

自立した町として、将来に渡って持続可能な地域を目指していくためには、地域資源や立地条件を生かし、行政と多様な主体が連携して地域の高齢者の安心な暮らしを守るとともに、移住希望者の選択肢となるよう、御宿町ならではの魅力あるまちづくりや、子育て世代・若者世代にとって暮らしやすい環境づくり、雇用の場の確保等に取り組む必要があります。

一人ひとりが生涯活躍 できるまちを目指します

町の課題である人口減少、高齢化、そして経済の活性化に対応していくため、地域の自然環境や都心に近い地理的条件、農産物・海産

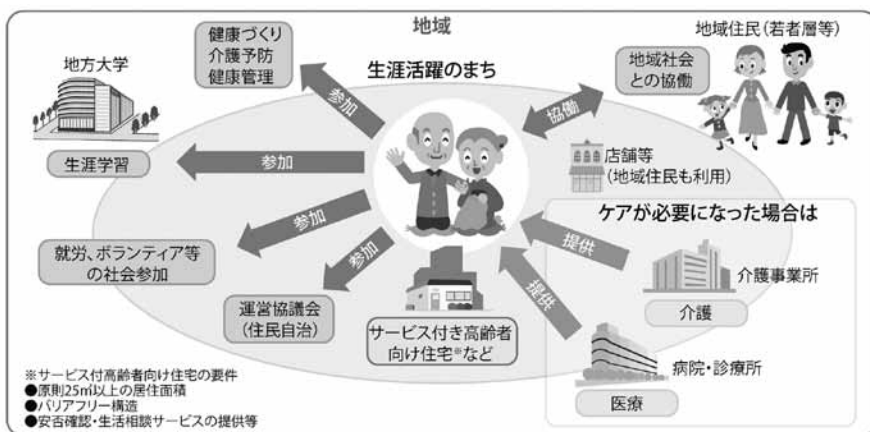
物などを活かしながら、地域住民をはじめ、大学や企業などと協働・連携し、御宿町に暮らす方や訪れる方が、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、皆が心豊かに暮らすことができる「生涯活躍のまち」を目指します。

町では、平成29年3月に生涯活躍のまち・おんじゅく（御宿版CCR）構想を策定しました。同構想に基づく地域再生計画『生涯活躍のまち・おんじゅく（おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまち）』が平成30年3月に内閣総理大臣に認定され、平成30年度地方創生推進交付金（御宿町生涯活躍のまち推進事業）が交付決定されました。

地方創生推進交付金

事業総額 64,820千円
事業期間 平成30年4月
～平成33年3月（3カ年度）

そのうち平成30年度地方創生推進交付金
交付対象事業経費 23,930千円
交付金額 11,965千円



▲「生涯活躍のまち」における中高年齢者の生活（イメージ）

※CCR: Continuing Care Retirement Communityの略。都会の高齢者が地方に移り住み健康状態に応じた継続的なケア環境の下で自立した社会生活を送ることができるような地域共同体的こと。

① 生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくり

地域住民と町が協働し、町内の各地区において、生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくりを行います。

社会福祉協議会やボランティア団体等と連携しながら、地域住民が主体となつて、高齢者等への食事提供、買い物や外出の支援といった生活支援サービス、介護予防のための体操などを実施します。また大学等と連携して、生涯学習プログラムなどを新たに実施します。さらに、子育て世代が交流できる場（交流サロン）を設置します。

◎生活支援・支え合いサービス事業
これまで実施した高齢者福祉等に関するアンケートやワークショップ等の結果を整理し、求められるサービスと担い手を把握します。また生活支援や支え合いサービスに関する講演会等を実施することで、担い手となる人材の発掘と育成につなげます。

◎多世代交流の仕組みづくり事業

公民館のほか、各区や民宿、店舗などへの協力を求めながら、大学等と連携して生涯学習やセカンドキャリアの講習会等を開催するほか、子育て世代や地域住民が交流するため、多世代交流の機会を設けます。

またこの事業は、担い手自身が自立し、継続的に運営できる仕組みが求められるため、円滑に担い手へ運営のバトンタッチができる仕組みづくりに取り組みます。

○健康づくりワークショップ

町では、生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくりに取り組むための意見交換の場として、「この町でいつまでも元気で暮らすには？」～生涯活躍のまち～ワークショップを開催しました。

ワークショップには、生涯活躍のまち推進協議会委員の健康づくりワーキンググループや、御宿町社会福祉協議会会長、御宿町ボランティア連絡会会長、生活支援コーディネーター等にご参加いただきました。

参加者は、交通手段の確保、近所付き合いの希薄化、在宅介護・医療の不足など課題に感じていることと、御宿町で元気に暮らし続

② 地域資源を生かした「にぎわい」の創出

行政と商工観光・農水産事業者等が連携し、特産品や食のメニュー開発、交流人口の増加、雇用の場の創出に取り組みます。

特産品開発として、中山間地域の農地や山林、遊休農地を活用した果樹栽培（オリーブ（新規）、キウイフルーツなど）と加工品の製造に取り組みとともに、農作物の成果

けるために自分たちができるといふ話がありました。参加者からは、様々な団体や活動者を繋ぐコーディネートを行う、在宅での医療や介護（制度など）について学ぶ、外出できない人の話し相手になる、自分自身が健康になる取り組みをする、などの意見に対し、共感の声があがりました。



▲活発に意見が飛び交いました



▲オリーブの苗

品や新鮮な魚介類を活用した新たな食のメニューづくりに取り組み、併せて雇用の場を創出します。また、地元農家の知恵や技能を生かして、田舎暮らしを希望する方に向けた体験プログラムや、移住者の受入れシステムを構築し、移住者の増加を図ります。

◎特産品の開発事業

オリーブ等を活用した6次産業化による地域活性化と人材育成を実施するため、先進地視察や講習会の実施、事業運営に対するルールづくり、町内で収穫できる作物のカレンダーの作成を行います。

またオリーブ研究会と連携を図り、多業種間による様々な可能性を研究するとともにオリーブ等を活用した体験プログラムも検討します。

③ 人材の育成と移住促進

住民と町が協働して事業を展開することで、交流のなかった世代や事業者、団体等の間に様々な交流を生み出し、事業の効果を高めることが期待されます。地域住民が気軽に集まり交流することができる拠点（交流サロン）を確保し、まちづくりの中心的な役割を担う人材の育成を図るとともに、地域が求める人材を都市部から誘致し、地域住民とともにまちづくりに取り組みます。

また、若者や子育て世代の移住や町外への転出抑制を図るため、大学や予備校と連携して、基礎学力の向上や生きる力を育む教育プログラムを実施し、教育に関する不安の解消と有為な人材の誘致を図ります。

◎特色ある教育プログラム事業

(1)小学生週末英語教室
平成32年度から小学校5、6年生では正式な教科として外国語（英語）が導入されます。町教育委員会では、子どもたちが英語に慣れ親しみ、外国語（英語）の授業にスムーズに対応できるよう、小学校4年生を対象に（株）市進の講師による週末

英語教室を開講しました。「子どもたちが英語を好きになるよう楽しくー」を目標に、ネイティブの先生を呼んでのイベントも予定しています。



▲公民館で楽しく英語を勉強

(2)中学生週末学習塾

町教育委員会では、御宿中学校3年生を対象に、希望進路の実現に向け、入試に対応した基礎学力を身に付けるため、予備校講師による週末御宿学習塾を開講します。

指導科目は、特に積み重ねが大切な教科と言われている英語と数学です。

④ 地域包括ケアシステム の構築

地域に暮らす全ての人が、できる限り住み慣れた地域で安心して暮

らし続けることができるよう、住み方の選択肢を広げます。医療・介護の支援や地域に暮らす人達相互の助け合いが、人生の最終段階まで提供される環境を創出することで、地域包括ケアシステムとして構築していきます。

◎サービス付き高齢者向け住宅 事業者・介護事業者等誘致セミ ナー実施事業

事前に介護等の関連業者に調査を行い、関心度の高い業者に対して説明会や現地視察などを実施します。

⑤ 移住・定住や雇用等 に関するニーズ調査 と情報発信

新たな移住者の呼び込みや住民の町外への流出抑制を図るためには、地域内で生き甲斐を感じながら、働き、収入を得ることが重要です。雇用の場と機会を創出するため、移住希望者（都市住民）の雇用や転居等に係るニーズ調査、地域住民と町内事業者の実情・ニーズ等について調査を行うとともに、移住（希望）者や地域住民、事業

者によるワークショップを行い、新たなサービスの発見や起業に結び付けていきます。さらに、地域住民と行政が連携して、移住・定住や雇用などに関する情報発信やインターネット交流を行うためのサイトを構築します。

◎都市住民を対象とした移住定 住事業

移住に対する幅広い要望や問題点等を把握するため、都市住民ウエブアンケート調査を実施し、「町への移住に大変関心がある」と回答した方を対象にワークショップや移住体験ツアーを開催することにより、希望する働き方やライフスタイルなど、詳細な移住に対するニーズの把握を行います。

◎情報発信サイト構築事業

都市住民向けに情報発信サイトを作成します。オール御宿（観光協会や商工会、各種団体や個人経営者等）で管理運営できる持続可能な仕組み作りを模索しつつ、情報発信サイトを構築します。

ピックアップ防災 Vol.58

危険物取扱者試験の実施

試験の種類 甲種、乙種全類(第1類から第6類)、丙種

日時・場所 12月2日(日) 勝浦市会場(国際武道大学)

願書受付期間

・書面申請 9月7日(金)～10月9日(火)(土・日・祝日を除く) 9:30～16:00

・電子申請 9月4日(火)から10月6日(土)まで 24時間対応

願書受付場所 一般財団法人消防試験研究センター 千葉県支部(郵送及び電子メール)

※詳細については、消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)をご確認ください。

※受験願書等の必要な書類は、消防本部又は最寄りの消防署や分署に用意してあります。

問合せ 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

予防課 予防係 ☎80-0132

危険物取扱者試験受験者講習会の開催

主催 (一社)千葉県危険物安全協会連合会

日時 10月26日(金) 9:30～16:45

受付時間 9:00～9:20

会場 茂原市東部台文化会館

対象 乙種第4類の取得を目指している方、または危険物関係法令等を学ぼうとしている方

受講料 3,600円(テキスト代別)

※受付でお支払いください。(申込不要)

テキスト ・危険物取扱必携「法令編」 1,340円

・危険物取扱必携「実務編」 1,340円

・例題集「乙種第4類」 1,660円

※テキストは消防本部で販売しています。また、当日会場でも購入できます。

問合せ 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

予防課 予防係 ☎80-0132

防火管理講習の実施

防火管理者として必要な資格を取得するための、消防法令で定める「防火管理講習」を、一般財団法人日本防火・防災協会により実施します。

講習日 10月22日(月)・23日(火)の2日間

講習場所 ホテル一宮シーサイドオーツカ(長生郡一宮町一宮10000)

受講料 7,500円(テキスト代含む)

定員 160人(先着順)

申込方法 9月10日(月)又は11日(火)に、申込用紙を一般社団法人千葉県消防設備協会へFAX送信又は同協会の窓口へ提出してください。

申込用紙は、8月下旬頃から消防本部又は最寄りの消防署や分署にて配布します。また、一般財団法人日本防火・防災協会のホームページ(<http://www.n-bouka.or.jp/>)からダウンロードすることもできます。

申込先 一般社団法人千葉県消防設備協会

〒260-0005 千葉市中央区道場南1-9-15 千葉県電気会館2階

☎043-306-3871 FAX 043-223-6610

問合せ 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

予防課 査察係 ☎80-0132

日ごろの外出・買い物に関する アンケートにご協力ください

少子高齢化や交通ネットワークの縮小などにより、買い物や通院など、日ごろの外出に不便を感じる方が増加することが見込まれており、千葉県では、今後の対策に役立てるため、御宿町と協力してアンケートを行います。

千葉県がこの調査を委託する株式会社ちばぎん総合研究所から、調査票が郵送されますので、ご協力をお願いします。

【調査名】日ごろの外出・買い物に関するアンケート

【調査時期】9月上旬(予定)に郵送

【調査内容】日常の移動手段や買い物・通院等に関する実態や意識について(無記名)

【調査対象】8月2日現在で65歳以上の方のうち無作為に抽出された1,500人

※無記名ではありますが、収集した情報は個人情報に準じた扱いとし、本調査の個人情報保護管理計画書に基づき千葉県が適正に管理します。

【問合せ】千葉県総合企画部政策企画課

TEL 043-223-2216

企画財政課 TEL 68-2512

第64回御宿町敬老会を開催

当日は、地元ボランティアの演芸等を予定しています。70歳以上の皆さんは、お誘い合わせのうえご参加ください。

【日時・場所】9月14日(金) 公民館

受付 10:40から、式典 11:30から

演芸 12:20から

※式典からご参加の方には、飲み物と軽食を用意しています。

※当日は以下のとおり送迎バスを運行しますのでご利用ください。

御宿台・七本・実谷方面		上布施・高山田方面	
西武プロパティーズ御宿台営業所	10:10	新久井青年館	10:20
		立山公民館倉庫下	10:25
七本集会所	10:15	上布施コミュニティ	10:30
旧実谷上バス停	10:20	消防センター	
実谷浄水場	10:25	新宿井上鉄工所前	10:33
旧吉野商店前	10:30	高山田消防庫	10:35
旧石ヶ原バス停	10:35	町公民館(会場)	10:40
西琳寺前	10:40	浜方面	
町公民館(会場)	10:45	漁協御宿支所	11:00
岩和田・六軒町方面		町公民館(会場)	11:10
岩和田消防庫	11:00	※送りのバスは、敬老会終了後随時運行します。	
魚秀前	11:05		
町公民館(会場)	11:10		

【問合せ】保健福祉課 福祉介護班 TEL 68-6716

介護予防教室 巡回型元気いきいき教室 (久保地区)を開催します

町では、高齢者の方が要介護状態にならないために、各区の集会所で体操や脳トレーニング等を行う巡回型元気いきいき教室を実施します。近所の方をお誘いのうえ、皆さんのご参加をお待ちしています。

【日時・場所】9月27日(木) 13:30~15:00 久保区民館

※他の地区は日程が近くなりましたらお知らせします。

※申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。

【対象】町内在住の65歳以上の方

※65歳未満の方も見学できます。

【持ち物】タオル・飲料水(水分補給)

※動きやすい服装でお越しください。

【内容】簡単な体操・脳トレーニング・レクリエーション・歌等

【問合せ】保健福祉課 福祉介護班 TEL 68-6716

住宅・土地統計調査を実施します

人が居住する建物や世帯などに関する実態を明らかにし、住生活に関連する施策の基礎資料とするため、10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

9月中旬から、「調査員証」を携行した調査員が調査をお願いする世帯に伺います。パソコンやスマートフォンを使って、簡単に回答できますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

○調査対象は、久保・御宿台・浜・新町・須賀・岩和田・上布施の一部の地区です。

※御宿町全体が対象ではありません。

【問合せ】企画財政課 TEL 68-2512

入札結果の公表(平成30年度7月)

- ◆件名 ◆場所 ◆契約期間 ◆落札業者 ◆契約金額(税込)
- ▼御宿町地域防災計画修正業務委託/御宿町/平成30年7月6日~平成31年3月25日/株ぎょうせい東京支社/3,834,000円
- ▼水路敷地 境界確定測量業務/新町地先/平成30年7月6日~平成30年8月31日/株アサヤ測量/1,760,400円
- ▼4001号線法面補強工事/上布施地先/平成30年8月1日~平成30年8月31日/株鈴木工業/2,095,200円
- ▼3005号線排水整備工事/久保地先/平成30年8月1日~平成30年9月28日/株鈴木工業/4,276,800円
- ▼1117号線舗装改良工事/新町地先/平成30年8月1日~平成30年8月31日/有神定建設/2,559,600円

【問合せ】企画財政課 TEL 68-2512

おんじゅく お知らせ版

発行日 平成30年8月25日 No. 751

臨時職員を募集します

《学校給食共同調理場調理員 募集人数2名》

【勤務内容】共同調理場での学校給食調理業務及び配送

【勤務期間】8:00～16:45

休日 原則週休2日(学校給食業務のない日)

【応募要件】年齢不問、普通自動車運転免許を有する方
(AT限定可)

【応募方法】市販の履歴書に必要事項を記入のうえ、写真を貼付し、9月7日(金)までに総務課行政班(4階③窓口)へ提出してください。※郵送可(締切日必着)

【面接日時】9月13日(木) 詳細は後日連絡します。

【応募・問合せ】

〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀1522
御宿町役場 総務課 行政班 TEL 0470-68-2511

国民年金保険料免除制度について

第1号被保険者(日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の人)は、年齢・性別・所得に関係なく、20歳から60歳までは定額の保険料を納めることになっています。(平成30年度保険料月額16,340円)

経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合には、ご本人の申請により保険料の納付が「免除(一部納付)」又は「猶予」される制度がありますので、未納にすることなく手続きを行ってください。

※ご本人の保険料未納期間の確認については年金事務所へお問い合わせください。

【問合せ】

ねんきん加入者ダイヤル TEL 0570-003-004
千葉年金事務所国民年金課 TEL 043-242-6320
税務住民課 住民班 TEL 68-6695

農地相談を開催します

町農業委員会では、農地に関する相談会を開催します。遊休農地、農地転用、売買、貸借、埋立等についてお気軽にご相談ください。

【日時・場所】9月5日(水)13:00～14:30

役場2階相談室

【問合せ】町農業委員会事務局(産業観光課内)

TEL 68-2513

後期高齢者短期人間ドック費用を 助成します

町では、千葉県後期高齢者医療保険に加入している皆さんの健康保持増進を目的に、検査医療機関にて2日以内で行う短期人間ドックおよび脳ドックの一部助成を行っています。

【対象者】

- ・御宿町に住所を有する千葉県後期高齢者医療の被保険者の方
- ・短期人間ドックまたは脳ドックを同一年度内に利用していない方
- ・利用年度の健康診査を受診しない方または受診していない方

(脳ドックのみの申請の場合はこの限りではありません)

【申請方法】受診予定日の15日前までに申請をしてください。

【助成金額】受診料の総額の7割(上限5万円)を助成します。

※同一年度内に助成を受けることができる回数は、短期人間ドックおよび脳ドックについてそれぞれ1回です。同一年度内の助成額は、短期人間ドックおよび脳ドックを合わせて5万円を限度とします。

【問合せ】保健福祉課 保健事業班 TEL 68-6717

家庭・子どもの教育相談

町では家庭教育に関する不安や悩み等についての相談を受け付けています。相談には町家庭教育指導員がお応えします。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。なお、予定日以外で相談希望の方はお問い合わせください。

【日時】9月7日(金) 18:30～20:30

9月20日(木) 9:00～11:00、13:00～15:00

9月30日(日) 13:00～16:00

【場所】公民館2階

【問合せ】公民館 TEL 68-2947

農地の適正な管理をしましょう

水田や畑などの農地について、適正な管理をお願いします。なお、作物を作っていない農地については定期的な草刈を行ってください。

国の方針により、管理されていない農地については農地の固定資産税にかかる控除(優遇)措置が対象外となる場合がありますので、作物を作っていない農地につきましては草刈等の保全管理を行うようお願いいたします。

【問合せ】町農業委員会事務局(産業観光課内)

TEL 68-2513

第43回海と山の子交流会

<夏のテーマ>

この一瞬 絆を深め Let's enjoy!~思い出作りの暑い夏~

第43回海と山の子交流会が7月25日(水)から27日(金)に行われ、御宿の海を舞台に御宿中学校と長野県野沢温泉中学校の1年生による交流を実施しました。

生徒たちは海で楽しく交流を深め、休憩時間中も早く海に入りたいという声があがっていました。また、地域の方のご協力のもと、漁船遊覧やイカの一晩干し作り体験などを行いました。

▶バーベキューやスイカを頬張る様子



◀海水浴で交流



今年は海水浴の時間を利用して、御宿サーフィンアソシエーションの方々の指導によるサーフィン教室を開催しました。初めてサーフィンをする生徒でも、何回かチャレンジするとサーフボードに立つことができ、波に乗る感覚を楽しんでいました。

◀サーフィン教室の様子

千葉工業大学主催による星空教室を開催

千葉工業大学御宿研修センターで、町内の小学生を対象とした星空教室が8月11日(土)に開催されました。

千葉工業大学天文研究部の学生が先生となり、子どもたちは星座のクイズや星座早見表作成で星の勉強をした後、実際に望遠鏡を使って夜空を観察しました。



▲参加した子どもたちと千葉工業大学の学生



▲浜駐車場の町民観覧席の様子

おんじゅく花火大会開催

第31回おんじゅく花火大会が8月2日（木）に行われました。

花火が打ち上がるたびに、子どもたちの「たまや〜」という元気な掛け声が聞こえ、夏の風物詩を楽しんでいるようでした。

また今年は岩和田駐車場と浜駐車場に町民観覧席が設置され、来場者は椅子やレジャーシートに座ってゆっくりと花火を眺めていました。

おんじゅく伊勢えび祭り開催のお知らせ

おんじゅく伊勢えび祭りを9月1日（土）から開催します。

開催期間中は、おんじゅく伊勢えび祭り協賛店においてオリジナルメニューをご堪能頂けます。また、期間中の9月15日（土）から10月28日（日）までの土日祝日は、月の沙漠記念館前広場において伊勢えびの直売を行います。

開催期間 9月1日（土）～10月31日（水）
ビッグイベント 9月9日（日）、10月14日（日）

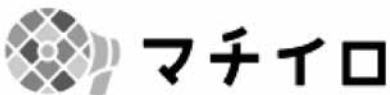
※ビッグイベントの開催に伴い、地図太線部の交通規制（車両通行止め）を行いますのでご了承ください。（予定）

交通規制期間 日時 9月9日（日）、10月14日（日）
時間 7:30～16:00

問合せ （一社）御宿町観光協会 ☎68-2414
産業観光課商工観光班 ☎68-2513



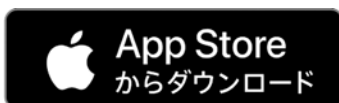
広報御宿がスマートフォンアプリ「マチイロ」でもご覧いただけます



マチを好きになるアプリ

【登録方法】

以下のQRコードから専用アプリ「マチイロ」をダウンロードしてください。iPhoneなどのiOS端末はApp Storeから、Android端末はGoogle Playからダウンロードできます。



スマホアプリ「マチイロ」で、広報御宿の配信を始めました。一度登録すると、最新号発行時に自動的にお知らせが届きます。

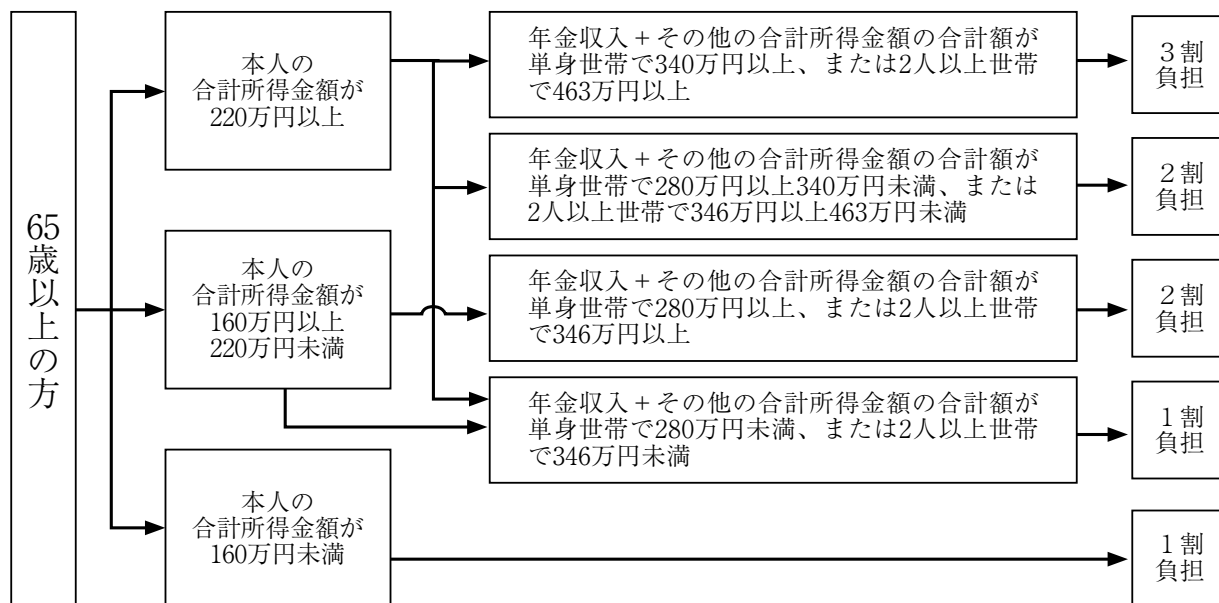
【主な機能】

専用アプリをダウンロードし簡単な設定をするだけで、最新号発行時にスマートフォンにお知らせが届きます。ページめくりや拡大・縮小なども簡単にでき、とても便利です。一度ダウンロードした広報紙は、オフラインでも閲覧ができます。全国の自治体の広報等も見ることができます。

【問合せ】企画財政課 ☎68-2512

介護保険サービスの自己負担割合が変わります

介護保険法の改正により、平成30年8月から介護サービスを利用する際の自己負担割合が変わります。65歳以上で介護サービスの自己負担割合が2割ある方なかで、特に所得が高い方は、3割負担となります。



※第2号被保険者（40歳以上65歳未満の方）、町民税非課税の方、生活保護受給者は上記にかかわらず1割負担となります。

高額介護サービス費について

介護サービスを利用する場合にお支払いいただく利用者負担には、月々の上限額が設定されています。1カ月に支払った利用者負担の合計が上限を超えたときは、超えた分が払い戻される制度です。

対象となる方	上限額（月額）
現役並み所得者に相当する方がいる世帯の方	44,400円（世帯）※
世帯のどなたかが町民税を課税されている方	44,400円（世帯） ※平成32年7月までは経過措置として、同じ世帯のすべての65歳以上の方（サービスを利用していない方を含む）の利用者負担割合が1割の世帯に年間446,400円（37,200円×12ヶ月）の上限を設定
世帯の全員が町民税を課税されていない方	24,600円（世帯）
前年の合計所得金額と公的年金収入額の合計が年間80万円以下の方等	24,600円（世帯） 15,000円（個人）※
生活保護を受給している方等	15,000円（個人）

※「世帯」とは、住民基本台帳上の世帯員で、介護サービスを利用した方全員の負担の合計の上限額を指し、「個人」とは介護サービスを利用したご本人の負担の上限額を指します。

対象となる方へは申請書をお送りします。また、一度申請されると以後の申請は不要となります。

問合せ 保健福祉課 福祉介護班 ☎68-6716

社会で生き抜く力を身につける

学校法人 中央国際学園

中央国際高等学校

御宿町久保1528 0120-89-0044

もしもの時は

御遺体の搬送
保冷库にて御遺体のお預かり

家族葬
福祉葬（生活保護対応）
自宅葬・寺葬

小ホール有り（いすみ市内）

ご遺族の思いを大切に (有)藤ライフサービス

いすみ市につた 4250 ☎0470-64-0070 0120-64-0071

タウンカレンダー 9月

1 土	●第12回おんじゅくオーシャンスイムレース (中央海岸)
2 日	●総合防災訓練・消防団フェスタ
3 月	
4 火	
5 水	
6 木	●ライフセーバー育成大会 ONJUKU CHALLENGE
7 金	●健康運動教室 14:00~15:00 B&G
8 土	
9 日	●伊勢えび祭りビッグイベント (月の沙漠記念館前広場)
10 月	
11 火	●乳児相談 13:30~15:00 保健
12 水	●ライフセーバー育成大会 ONJUKU CHALLENGE
13 木	
14 金	●第64回御宿町敬老会
15 土	●全日本ライフセービング選手権大会 東日本予選会 (中央海岸) ●健康体力チェック 13:00~ (受付15:00まで) B & G
16 日	●全日本ライフセービング選手権大会 東日本予選会 (中央海岸) ●健康体力チェック 13:00~ (受付15:00まで) B & G ●サンデーオープン 9:00~12:00 ●町民清掃
17 月	
18 火	
19 水	
20 木	●健康相談 13:30~15:00 公民
21 金	●健康運動教室 14:00~15:00 B&G
22 土	●全日本学生ライフセービング選手権大会 (中央海岸)
23 日	●全日本学生ライフセービング選手権大会 (中央海岸)
24 月	
25 火	●つくしくらぶ 13:30~15:30 こども園
26 水	
27 木	
28 金	●健康運動教室 14:00~15:00 B&G ●歴史民俗資料館企画展「五穀豊穡秋まつり展」 (12月22日まで)
29 土	
30 日	

保健：保健センター 公民：公民館
B&G：B&G海洋センター 御児：御宿児童館

まちのうごき

- 人口 7,558(▲2)
男 3,579 女 3,979
世帯数 3,689
(平成30年7月31日現在)
- 慶弔
出生 4 死亡 11
(平成30年7月届出)
- 交通事故発生状況
発生件数 7 死者数 0
負傷者数 7
(平成30年1月1日~7月31日)
- 御宿分署の出動状況
火災発生件数 0
救急件数 47
(平成30年7月中)
- ダム貯水状況
貯水量 432,000m³
貯水率 74.6%
(平成30年8月9日現在)
- 町浄水場の水質検査
放射性物質の検査は3ヶ月に1回となりました。
- エピアミー号利用状況
乗車人数501人
(平成30年7月中)
- ふるさと納税寄附受付
寄附件数 1,212件
寄附総額 1,857万5千円
(平成30年7月末日現在)

俳句愛好会【おんじゅく俳壇】 今月の兼題【梨・墓参り】

少しづつ癒える悲しみ墓参り 本吉美絵子	墓参りゆるしゆるされ早三年 庄司 範義	新梨と母の手紙が届きけり 近藤 風花	絵日傘をかたむけ舞子遠会秋 安岡 信子	石橋 敲	日向葵や戦終りし日にも咲き 菊池 武夫	潮の香の道に迷へり秋の蝶 聖成けさ子	掃苔や介護の母の小さき肩 西川 百	夏草や埋もれし辻の道標 みらしるべ
------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	------	------------------------	-----------------------	----------------------	----------------------

◎油照 蒸し暑、薄日の出ている夏の天候	◎掃苔 墓参り、特に盃蘭盆の墓参りをいう	都心でふビルの谷間の油照 岡本 俊康	雨上がり蛇が消えるを犬と待ち 李 泰久	直売の梨の試食の瑞々し 佐藤きよみ	日焼け跡恐れを知らぬ女学生 本吉 愛	葉桜や墓を守りし寺静か 佐野志保子
---------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	-----------------------	----------------------



在宅介護でお困りの事が御座いましたらご相談ください。
お手伝いさせていただきます。

スタッフも募集しています。

ケアプラン作成・訪問介護

NOAH (のあ)

御宿町 岩和田 1056

電話 60-3868

水廻り・電気トラブル・家電の使い方等
お困り事なら

PANA CLAIR シーズ あきば
御宿町新町312
TEL 68-2157

買ったあともおまかせください！
『即日訪問』で安心サポート

ブログで私たちの仕事を紹介中 ▶▶▶ オール電化 御宿町 検索

慶應義塾大学の学生と未病をテーマに意見交換



▲意見交換の様子

※未病…心身の状況は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、健康から病気・病気から健康の変化の過程を表す概念を未病といいます。

町内の宿泊施設が大学と提携していたこともあり、同ゼミの学生のもとなどが過去に御宿町を訪れています。どっぴりではないからこそ色々な角度から、客観的に新鮮な意見が交わされました。

日本全体で医療費・社会保障費の支出が増え、より若者世代、次の世代に負担がのしかかる状況のなか、御宿町のように年齢に関係なく元気な人が多い状態をどうやって維持していくのか、自由闊達に議論を交わしました。

未病について研究している慶應義塾大学の渡辺賢治研究会が御宿町で合宿を行い、100歳時代をどう生きるのか、御宿版C-CRC構想について意見交換をしました。

**未病の改善で目指す
持続可能な社会**



地域おこし協力隊
移住定住・空き家対策担当
富樫 泰良

御宿町は食にも運動環境にも恵まれています。そしてなにより近くに仲間が沢山います。つながりを大事にする御宿を引き続き守っていただけると幸いです。

御宿町の財政も決してゆとりのある状態ではありません。持続可能な社会を目標に、病気になる前の未病の状態を食・運動・社会参加によって改善することで、社会保障費の抑制を目指していけたらと思います。

御宿町の財政も決してゆとりのある状態ではありません。持続可能な社会を目標に、病気になる前の未病の状態を食・運動・社会参加によって改善することで、社会保障費の抑制を目指していけたらと思います。

食・運動・社会参加が健康にとって大事な要素であると言われるなか、年齢問わず生き生きと元気に活動されている方々の社会参加について、特に多世代での交流関係に触れることができ、未病をテーマにしている研究会として大きな学びになったようです。財務省によると2000年には社会保障給付費が78兆円だったのに対し、2025年には141兆円にも拡大すると推測されています。現在も国家予算のおよそ3分の1が社会保障費です。